

令和3年12月16日 参・予算委 木戸口英司議員質疑概要（抜粋）

○木戸口議員 それでは、新型コロナウイルス対策についてお伺いをいたします。

オミクロン株が急拡大しております。総理は危機管理を行う司令塔組織の立ち上げということをおっしゃっておりますけれども、こういった問題意識から、そして、いつこれに取り組むんでしょうか。

○岸田総理 新型コロナ対策については、まずは、現状、第六波への備え、最悪の事態を想定して、慎重の上にも慎重に対応していかなければならないという考えに基づいて、今、水際対策、病床の確保を進め、そしてこの予防、検査、そして早期治療、この流れをしっかりとものにしなければいけないということでワクチン接種と検査と経口治療薬のこの整備に努めているわけですが、こうした現状に対するしっかりと支援と併せて、これ、将来のことを考えますと、こうした感染症を始めとする緊急事態にしっかりと備えていく体制自体も考えていかなければいけない、中長期的な視点も大事だということ、一つは人流抑制、そして国と地方の関係、そしてもう一つが今御指摘になりました司令塔機能、この三点についてこの中長期的な課題として体制をつくっていかねばいけないということ、来年六月をめどに、こうした三点を中心にこの我が国のこの体制をしっかりと考えていきたいと考えております。

そして、必要であるならば法改正もしっかり考えていくということを今この政府として考えているところであります。